

県工技センター

クリーンルーム新設

本年度 高機能素材を研究

徳島県は2017年度、徳島市の県立工業技術センターに、空気中の微粒子が少ない「クリーンルーム」を新設する。将来性が期待されている炭素繊維強化プラスチック(CFRP)などの高機能素材を研究開発するための環境を整え、関連産業の活性化を図る。

クリーンルームは、一般的な建物内より空気に含まれる異物が10分の1程度に抑えられた部屋と、さらにクリーン度の高い部屋の2種類。広さは未定だが、センター本館と実験棟に1室ずつ設けられる。

CFRPは、炭素繊維の隙間を樹脂で埋めた紙状の素材を重ね合わせ、熱と圧力で固めて成形する。重ねる際に異物が混入する恐れがあり、高精度の製品開発にはクリーンルームが不可欠とされている。

事業費は1億9800万円。うち半額を国の「地方創生拠点整備交付金」で賄う。年度内に完成させ、CFRPの成形に使われる機材を導入して企業に開放する。

県新未来産業課は「県内の企業が可能性を試せる施設になれば」としている。
(大塚康代)